

# 第6学年1組 学級活動（保健）指導案

平成29年2月10日（金）公開授業Ⅱ

会場 1階-Y（中学校1年3組）

授業者 新潟大学教育学部附属新潟小学校

養護教諭 長谷川由紀（MT）

教諭 片山 敏郎（ST）

## 1 題材名 未来につながる“今”－病気の予防－

## 2 本題材の価値

本題材は、学習指導要領特別活動の学級活動共通事項（2）カ及び、「学校におけるがん教育の在り方について 報告」に掲げられたがん教育の目標を受けて設定した。

### 【学習指導要領特別活動 学級活動】

- 2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全  
カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

### 【学校におけるがん教育の在り方について 報告 がん教育の目標】

- ① がんについて正しく理解することができるようにする
- ② 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

近年、疾病構造の変化や高齢化社会など、子どもを取り巻く生活環境は急激に変化している。中でも、がんは生涯のうち2人に1人はかかると推測され、日本人の死亡原因のワースト1位になるほど増加している。しかし、がんの正しい理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分と指摘されている。そこで平成29年度よりがん教育が始まる。がん教育は、がんについて正しく理解することができるようにすること、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにすることの二つの目標がある。

小学校におけるがん教育の課題は、子どもががんと自分事にして考えにくいことである。人生で最も健康度の高い時期を過ごす小学生にとって、主に成人期に起こるがんは身近な病気ではない。そのため、がんに関する基礎知識は子どもによってばらつきがあり、予防に対する関心も低い。予防行動につなげるには、がんに関する基礎知識を理解させ、自分の生活と結び付けて考えさせることが大切である。そこで本題材では、がんを予防する生活習慣と自分の生活習慣とを関連付け、自分に合ったがんを予防する生活習慣を見いだす子どもを目指す。

そのために、保健学習、保健指導と関連させて、がんに関する知識を段階的に学習させることを構想する。まず、保健学習「病気の予防」で、疾病の発生や予防に関する基礎知識を学習させる。次に保健指導で、がんを予防する生活習慣について考えさせる。子どもは、保健学習の基礎知識を基に、がんを予防するにはどのような生活習慣がよいのかを考える。また、自分の生活習慣を振り返らせる際は、「生活習慣診断」を提示し、がんを予防する生活習慣との相違点を問う。「生活習慣診断」とは、個々の子どもが食生活や運動習慣など、日頃の生活習慣を記入したアンケートである。相違点を問うことで、子どもは**疾病等のリスクの軽減と生活の仕方に関連付ける**という「見方・考え方」を働かせ、生活習慣の課題に気付く。そして、目指す姿になる。

その後、目指す姿になった子どもに、健康と命の大切さについて考えさせるために道徳の学習を行う。子どもは、保健学習と保健指導で学習したがんに関する基礎知識を基に、健康と命の大切さについて主体的に考え、がん教育の目標に至る。

## 3 本題材で目指す姿

**がんを予防する生活習慣と自分の生活習慣とを関連付け、自分に合ったがんを予防する生活習慣を見いだす子ども**

具体的には、**疾病等のリスクの軽減と生活の仕方に関連付ける**という「見方・考え方」を働かせて、がんを予防する生活習慣と自分の生活習慣とを関連付けて考えることで、生活習慣の課題を発見し、自分に合ったがんを予防するための生活習慣を見いだす姿。

## 4 本題材で育成する資質・能力

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
学級活動（保健指導）	○がんに関する知識	○自らの健康や生活習慣の状況を適切に評価する力	○自他の健康を保持増進しようとする態度

## 5 指導計画 全9時間 (27Q)

別紙「単元カード」参照

## 6 指導の構想

事前アンケートでは「がんは怖い病気だと思う」に95%の子どもが「はい」と回答した。しかし「がんの原因には食習慣、運動習慣は関係する」に正答した子どもは72%、「がんの原因にはたばこやお酒が関係する」に正答した子どもは85%であった。がんに対して恐怖イメージをもっているが、がんを予防するための正しい知識を有していない子どもがいる。

### 働き掛け1

がんの罹患に関するデータを提示し、どのような生活習慣ががん予防につながると思うかを問う。

問いをもたせる働き掛けである。

日本人の生涯がん罹患割合（2人に1人の割合でがんにかかる可能性がある）を提示する。子どもは漠然としていたがんという病気が、実は身近に迫るかもしれない病気だということに気付く。そして、「怖い」「がんにかかりたくない」と脅威を感じ、「がんにかからないためにはどうすればよいか」と予防を考え始める。子どもは、**疾病等のリスクの軽減と生活の仕方を関連付ける**という「見方・考え方」を働かせて、保健学習「病気の予防」で得た知識や、メディアなど生活の中で得た知識（不確かな知識を含む）を基に、「生活習慣をよくする」や「規則正しい生活をする」などと考える。しかし、表面的な知識理解であり、正確ながんを予防する生活習慣までは知らない。そこで、具体的にどのような生活習慣ががんの予防につながると思うかを問う。すると「どのような生活習慣ががんを予防するのだろう」と問いをもち、インターネット検索をしたり、資料で調べたりしたいと考える（**ツール活用能力**）。そして、食生活、運動、酒、たばこなど、子どもが挙げた予想を基に、調べ学習をする時間を設定する。調べた結果は次時で発表し合うことを告げ、わかりやすくまとめること、正しい情報を伝えるためインターネット検索は指定するサイトから検索することを指示する。

### 働き掛け2

調査結果を発表させ、どのような生活習慣を送ればがんを予防できるのかを問う。

がんを予防する生活習慣を理解させるための働き掛けである。

がんを予防する生活習慣について、それぞれが調べたことを班で発表させる（**学級活動①知識・技能**）。その後、どのような生活習慣を送れば、がんを予防できるのかを問う。子どもは、発表したそれぞれが調べたことを総合して（**協働性**）、がんを予防する生活習慣の具体を理解する。

### 働き掛け3

「生活習慣診断」を提示し、がんを予防するために自分はどんなことができそうかを問う。

生活習慣を振り返らせ、がんを予防するための生活習慣を見いださせるための働き掛けである。

「生活習慣診断」を提示し、がんを予防するための生活習慣と自分の生活習慣との相違点を問う。子どもは**疾病等のリスクの軽減と生活の仕方を関連付ける**という「見方・考え方」を働かせて、がんを予防するためにはどこを改善したらよいかを振り返る。さらに、がんを予防するために自分ができるようなことを問うことで「給食で苦手な野菜が出たら一口でもいいから食べる。野菜を避けがちで不足していたかも」「たばこの煙を避けたい。家族がたばこを吸ってるので煙を吸い込んでいるかも」など（**学級活動②思考力・判断力・表現力**）、自分に合ったがんを予防する生活習慣を見いだす子どもになる。

### 働き掛け4

授業で分かったこと、また、どうして分かったのかを問う。

様々な資質・能力を発揮したことで課題解決ができたことを自覚させるための働き掛けである。

子どもに授業で分かったこと、また、どうして分かったと思うかを問い、ワークシートに記入させる。すると子どもは「自分に合ったがんを予防する生活習慣が分かりました（**学級活動①知識・技能**）」。「生活習慣診断」を見て、自分の生活習慣とがんの予防方法とを関係付けながら考えたので分かりました（**学級活動②思考力・判断力・表現力**）」等と、様々な資質・能力を発揮したことで課題解決ができたことを自覚する。

**(1) 本時のねらい (本時 5 / 9 時間目)**

がんを予防する生活習慣と自分の生活習慣とを関連付け、自分に合ったがんを予防するための生活習慣を見いだすことができる。

**(2) 展 開**

学習活動と子どもの姿 ☆資質・能力	教師の働き掛け
<p><b>1 がんの罹患に関するデータを見て、がんを予防するにはどんな生活習慣がよいのかを考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんにかかる人のことかな。</li> <li>・2人に1人の割合でかかるって多いな。</li> <li>・がんになりたくないな。</li> <li>・結構身近なのかもしれないね。</li> </ul> <p>・がんになりたくないと思いました。</p> <p>・どうしたらがんにかからないのかなと思いました。</p> <p>・規則正しい生活習慣を送ること。</p> <p>・生活習慣をよくすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事を残さず食べることかな。</li> <li>・運動をすることだと思う。</li> <li>・睡眠不足にならないことじゃない。</li> <li>・酒やたばこをしないことかな。</li> <li>・どんな生活習慣ががん予防になるのかな。</li> <li>・そこまで詳しくは知らない。</li> <li>・調べてみたいな。</li> <li>・ネットで調べたい。</li> <li>・本で調べたい。</li> <li>・資料で調べたい</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>☆ツール活用能力</b></p> <p>・僕は「食生活」について調べよう。</p> <p>・僕は「運動」について調べよう。</p> <p>・私は「たばこ」について調べるよ。</p> <p>・私は「酒」について調べよう。</p> <p style="text-align: right;"><b>☆ツール活用能力</b></p>	<p><b>OMT発問「この数字は何を表すでしょう」</b> 【働き掛け1-①】</p> <p><b>※日本人の生涯罹患割合</b></p> <p>○MT説明「日本人の2人に1人が生涯でがんにかかる可能性があると言われていています。がんは体の中にがん細胞がどんどん増えていってしまう病気です。がんが増えると、体の働きを邪魔したり、必要な栄養を奪ったりして、体全体が弱っていきます」</p> <p><b>※がんの病変写真資料</b></p> <p><b>※生涯とは生まれてから高齢者になり、亡くなるまでということ</b>を補足する</p> <p>○MT発問「これらのデータについて、どんなことを思いますか」</p> <p>○MT発問「がんにかからないためにはどうしたらよいと思いますか」</p> <p><b>OMT発問「具体的にどのような生活習慣ががんの予防につながるのでしょうか」</b> 【働き掛け1-②】</p> <p><b>※補助発問「生活習慣とは、例えばどんなことですか」</b></p> <p><b>※具体的に「どのくらい」「どんな風に」を問う</b></p> <p>○MT説明「皆さんは、がんの予防には生活習慣をよくすることが大事そうだと思っているけれど、具体的にどんな生活習慣が良いのかまでは分からないのですね」</p> <p>○学習課題を設定する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がんを予防する生活習慣とは、どんな生活習慣だろう。</p> </div> <p>○MT指示「がんを予防する生活習慣について調べましょう」</p> <p><b>※タブレット端末、本、資料の準備</b></p> <p><b>※子どもの予想が複数挙げられた場合は、4観点に整理する</b></p> <p>○MT指示「班内で分担して調べましょう。次の時間に、班の中で発表をしましょう」</p> <p><b>※調べる際の注意点 (信頼度の高いサイトと資料の提示)</b></p>
<p style="text-align: center;">~~~~~ <b>本時ここから</b> ~~~~~</p> <p><b>2 調査結果を発表し、発表で分かったがんを予防する生活習慣をまとめる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜や果物を食べることで食道がんなどのリスクを下げます。野菜と果物をバランス良く摂ることが理想です。塩分の多い食品は胃がんのリスクを上げます。控えめにすることが大切です。食道がんの可能性を高めるので、熱い飲食物は冷ましてから摂ることが大切です。</li> </ul>	<p><b>OMT指示「がんを予防する生活習慣について調べました。調べた結果を発表しましょう」</b> 【働き掛け2-①】</p> <p><b>※1人2分程度で発表させる</b></p>

- ・運動をすることで、結腸がんを予防できます。毎日60分以上運動することが理想です。
- ・お酒を飲むことは、咽頭がん、肝臓がんなどの可能性を高めます。飲む場合は1日あたりアルコール量約23g程度、ビールなら大瓶1本程度の量にとどめて、飲み過ぎないこと（節酒）が予防になります。
- ・禁煙は肺がんだけでなく、全身のがんの予防につながります。たばこを吸わない人と比べて、たばこを吸う人はがんのリスクが高いです。知らないうちに煙を吸い込んでしまう受動喫煙も同じくらいリスクがあります。

**☆学級活動①**

- ・食生活…バランス良く、野菜、果物を食べる（400gが理想）。塩分は控えめに。熱い飲み物は冷ます。
- ・運動…1日60分程度の運動が目安。
- ・たばこ…禁煙する。周囲の人の煙を吸わないよう注意する。
- ・酒…節酒を心がける。

**☆協働性**

**3 生活習慣を振り返り、自分に合ったがんを予防する方法を考える。**

- ・こんなに野菜を食べていないかもしれないな。
- ・60分間も運動はしていないかもしれない。
- ・家族はたばこを吸っている。
- ・父は毎日、お酒を飲んでいるな。

- ・給食で苦手な野菜が出たら、一口でもいいから食べる。野菜を避けがちで不足していたかもしれないから。
- ・休み時間は体を動かして遊んで、運動不足にならないよう注意したい。
- ・たばこの煙を避けたい。家族がたばこを吸っているの煙を吸い込んでいるかもしれないから。
- ・家族にお酒の飲み過ぎないように伝えたい。お酒を飲み過ぎているように思うから。

**☆学級活動②③**

**4 授業で分かったこと、また、どうして分かったと思うかをワークシートに記入する。**

- ・調べ学習をして、発表を聞いたことで、がんを予防する生活習慣が分かりました。そして自分の生活習慣とがんを予防する生活習慣とを関係付けながら考えたので、自分に合ったがんを予防する生活習慣が分かりました。

**☆学級活動①②**

○MT指示「どんな生活習慣ががんを予防するのか、まとめシートにメモしながら発表を聞きましょう」

※まとめシートを配る

○MT発問「どのような生活習慣を送れば、がんを予防できるのですか」

【働き掛け2-②】

○MT発問「がんを予防する生活習慣が分かりましたね。では、自分の生活習慣はどうでしょう。がんを予防する生活習慣と自分の生活習慣では相違点がありますか。まとめシートに印を付けましょう」

【働き掛け3-①】

※「生活習慣診断」を配付する  
※野菜の目標摂取量を提示する

○MT発問「がんを予防するために、今の自分ができそうなことはありますか。まとめシートに記入しましょう」

【働き掛け3-②】

○MT説明「がんにはまだ原因が明らかでないものや、小児がんなど生活習慣が関係しないがんもあります。しかし、大人がかかるがんの多くは生活習慣の積み重ねで起こります。皆さんは、未来に繋がる今をどう過ごしますか。今も未来も元気に充実した毎日を過ごしてほしいと思います」

○ST発問「授業で分かったことは何ですか、また、どうして分かったと思いますか」

【働き掛け4】

○ST指示「ワークシートに記入しましょう」

**(3) 評価**

がんを予防するための生活習慣を見いだせたかどうか、ワークシートの記述で判断する。